



医療 ISAC Security Lecture 2023

#006

医療機関における情報漏えい・ウェブサイト改ざん事案にいかに対応するか

講師：江原悠介

日時：2023年9月28日（木）17:00～18:00 Google Meet によるライブ配信



講師略歴

医療 ISAC ステアリングコミッティ委員

PwC システムプロセスアシュアランス・ディレクター

ヘルスケアや金融を中心とした社会インフラ型のリスクアシュアランスに係る様々な業務に従事。医療機関や情報処理事業者に対する 3 省ガイドラインに基づく態勢整備/セキュリティ監査、患者個人情報等の二次利用に際したプライバシーガバナンスの整備支援等、官公庁ガイドラインや医療 DX に伴うガバナンス設計に対する業務知識・経験を有する。

- ・ 特定非営利活動法人 デジタル・フォレンジック研究会 理事（医療分科会 主査）
- ・ 経済産業省・総務省「医療情報を取り扱う情報システム・サービスの提供事業者における安全管理ガイドライン」検討委員会 委員
- ・ 経済産業省 情報セキュリティサービス審査基準 技術検討会 委員
- ・ 経済産業省 DX システムガバナンスに係る検討会 委員
- ・ 徳洲会インフォメーションシステム（株） セキュリティアドバイザー
- ・ 情報処理推進機構 社会実装推進委員会 民法改正 WG/セキュリティ検討 PT 委員
- ・ 内閣府 SIP 第 2 期「AI（人工知能）ホスピタルによる高度診断・治療システム」採択課題 / 「AI ホスピタルの研究開発に係る知財管理等、システムの一般普及のための技術標準化・Open/Close 戦略、官民学連携のためのマッチング等に関する対応」プロジェクト 研究責任者経験者





講演要旨

医療 ISAC では 2021 年 11 月に、(特非) デジタル・フォレンジック研究会 医療分科会と共同で公開した「医療機関向けランサムウェア対応検討ガイドンス」(以下リンク先参照) のなかで、医療機関において、電子カルテシステム等の医療情報システムがランサムウェア被害を受け、医療の<可用性>が損なわれた場合の復旧的対策等を取りまとめた。

<https://digitalforensic.jp/2021/11/25/medhi-18-gl/>

一方で、医療機関が直面するサイバーリスクは、<可用性>のみでなく、医療情報の漏えいという<機微性>を標的としたもの、あるいは医療機関が公開するウェブサイトの情報の<完全性>を損なわせるものも存在する。

特に今年に入り、<機微性>や<完全性>をターゲットとしたサイバー攻撃が多くなり、それを間接的に介した<可用性>へのサイバー攻撃も増加している。

本講演では、医療機関をターゲットにしたサイバー攻撃の変化動向や必要な対応策の解説とともに、そうした動向を踏まえ、今後医療 ISAC が国内医療機関固有の IT 環境等を考慮した観点から整理して公表を予定している「情報漏えい」、「Web サイト改ざん」等の事案発生に伴う対応ガイドンスの概要もあわせて解説したいと思う。

